

南ゾーン



マーク説明

- 花の見頃時期
- △ ……ソメイヨシノを基準として早い
- ▼ ……ソメイヨシノを基準として遅い
- 観察エリア
- 北** …… 北ゾーンに咲く桜です。
- 西** …… 西ゾーンに咲く桜です。
- 中** …… 中央ゾーンに咲く桜です。
- 南** …… 南ゾーンに咲く桜です。

お問い合わせ先は

公益財団法人 東京都農林水産振興財団

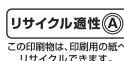
〒190-0013 東京都立川市富士見町3-8-1
TEL:042(528)0505(直通)

農林水産振興財団

検索



<https://www.tokyo-aff.or.jp>



2024.2

公益財団法人 東京都農林水産振興財団

さくら観察MAP

桜の名称 一覧

- | | | |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 一葉 2 陽光 3 椿寒桜 4 十月桜 5 白雪 6 紅玉錦 7 雛菊桜 8 御衣黄 9 松前八重寿 10 花笠 11 八重紅彼岸 12 紅鶴桜 13 大島桜 14 紅笠 15 蘭の尾 16 関山 17 松月 18 紅華 19 函館匂 20 紅豊 21 駿河台匂 22 響金 23 普賢象 24 染井吉野 25 八重紅大島 26 寒桜 27 兼六園菊桜 28 大寒桜 | <ul style="list-style-type: none"> 29 修善寺寒桜 30 白妙 31 静匂 32 紅時雨 33 オカメ 34 アーコレイド 35 小彼岸桜 36 寒耕桜 37 八重紅虎の尾 38 越の彼岸桜 | <ul style="list-style-type: none"> 39 八重紅枝垂 40 仙台吉野 41 河津桜 42 紫桜 43 紙王寺紙女桜 44 梅護寺数珠掛桜 45 山桜 46 天の川 |
|--|---|--|
- * 番号のないものは、品種の特定中です。



試験圃場には入れませんので、ご注意ください

SAKURA 桜一覽



1 一葉
(イチヨウ)
雌しべの1本が緑色の葉状に変化することから命名。
▼北



2 陽光
(ヨウコウ)
愛媛県でアマギヨシノとカンヒザクラを交配してつくられた品種。
△北



3 椿寒桜
(ツバキカンザクラ)
愛媛県松山市の椿神社で生じた独特の品種。
△北中



4 十月桜
(シュウガツザクラ)
マメザクラとエドヒガンの雑種の系統で、秋から断続的に開花する。
△北



5 白雪
(シラユキ)
東京の荒川堤に植栽されていた品種。
北



6 紅玉錦
(ベニタマシキ)
1963(昭和38)年、北海道松前町で育成された品種で、蕾が紅の玉をつけた様になる。
▼北



7 雛菊桜
(ヒナギクザクラ)
新潟県弥彦村の弥彦神社に原木がある菊咲き品種。
北



8 御衣黄
(ギョイコウ)
花色が淡緑色で部分的に濃緑色のすじが入る。
▼北中



9 松前八重寿
(マツマエヤエコトブキ)
1963(昭和38)年、北海道松前町で育成された品種。
▼北



10 花笠
(ハナガサ)
1963(昭和38)年、北海道松前町で育成された。雌しべが花笠に似ているため命名。
▼北



11 八重紅彼岸
(ヤエベニヒガン)
コヒガンザクラの八重咲きの品種。
北



12 紅鶴桜
(ベニツルザクラ)
神奈川県山林の中で発見され、カンザクラとソメイヨシノの自然雑種と推定。
北



13 大島桜
(オオシマザクラ)
伊豆諸島と伊豆半島南部に特産する。葉に独特の香りを持ち、桜餅に利用。ソメイヨシノの片親。
北西



14 紅笠
(ベニガサ)
1963(昭和38)年、イトククリとサトザクラとの自然交配の中から選抜して得た品種。
▼北



15 鶯の尾
(ワシノオ)
東京の荒川堤に植栽されていた品種。花色は白色で、花弁全体にしわ状のうねりがある。
▼北南



16 関山
(カンザン)
東京の荒川堤に植栽されていた品種。
▼北西



17 松月
(ショウゲツ)
東京の荒川堤に植栽されていた品種。樹形が傘状に広がる。
▼北



18 紅華
(コウカ)
北海道松前町で育成された栽培品種で、裏面が白色を帯びる。
▼北中



19 函館匂
(ハコダテニオイ)
白い大輪の花で、花に芳香があるのが特徴。
▼北



20 紅豊
(ベニユタカ)
1961(昭和36)年、北海道松前町で育成された品種で、別名マツマエベニユタカと呼ばれる。
北



21 駿河台匂
(スルガダイニオイ)
東京の荒川堤に植栽されていた品種。かつて江戸駿河台にあったことから命名された。花が香る。
▼北



22 鬱金
(ウコン)
東京の荒川堤に植栽されていた品種で、花が淡黄緑色であることから、命名された。
▼北



23 普賢象
(フゲンゾウ)
2本の雌しべが普賢菩薩が乗っている象の鼻に似ていることから命名されたと言われる。
▼北



24 染井吉野
(ソメイヨシノ)
江戸時代末期に染井村の植木屋から売り出されたサクラン。オオシマザクラとエドヒガンを交配してつくられた。
北中西南



25 八重紅大島
(ヤエベニオオシマ)
オオシマザクラの花が重弁になり、花色が淡紅色になる品種。
▼北中



26 寒桜
(カンザクラ)
カンヒザクラとヤマザクラの雑種と考えられる品種。当財団で一番早く咲く桜。
△北



27 兼六園菊桜
(ケンロクエンキクザクラ)
名の由来は原木が兼六園にあったことから。サクランの中では花弁の数が最も多く100~300枚の花弁が球状につく。
▼北



28 大寒桜
(オオカンザクラ)
埼玉県の安行で自生種を発見、片親はカンヒザクラと言われる。
△北



29 修善寺寒桜
(シュゼンジカンザクラ)
静岡県修善寺町の修善寺境内に6本の老古木が有名。
△北中



30 白妙
(シロタエ)
東京の荒川堤に植栽されていた品種。
北西



31 静匂
(シズカニオイ)
東京の小金井堤のヤマザクラの実生から選抜されたときされる。花に芳香があるのが特徴。
▼北



32 紅時雨
(ベニシグレ)
1961年(昭和36)にアズマニシキの実生から選抜して得た品種。
▼北



33 オカメ
1947年(昭和22)に発表された、カンヒザクラとマメザクラを交配して作出した品種。
△北



34 アーコレイド
ベニヤマザクラとコヒガンザクラの交配により作出された品種。
△北



35 小彼岸桜
(コヒガンザクラ)
エドヒガンとマメザクラの交雑と推定される。
△北



36 寒緋桜
(カンヒザクラ)
花色が緋色のことからこの名が付けられた。
△中



37 八重紅虎の尾
(ヤエベニトラノオ)
花が密集して長い枝につき、虎の尾状になることから命名された。
▼中



38 越の彼岸桜
(コシノヒガンザクラ)
富山県に多く見られる自生種で、県の天然記念物に指定。
△中



39 八重紅枝垂
(ヤエベニシダレ)
明治時代、仙台市長遠藤庸治が市内に植栽したことから遠藤桜とも呼ばれる。
西



40 仙台吉野
(センダイヨシノ)
宮城県師範学校でヤエベニシダレとソメイヨシノを交配させた品種。
▼中



41 河津桜
(カワツザクラ)
静岡県の河津町で偶然発見された。片親はカンヒザクラ。
△中西



42 紫桜
(ムラサキザクラ)
東京の荒川堤に植栽されていた品種。紅紫色の花弁と花と同時に展葉する紫色の若葉が特徴。
西



43 祇王寺祇女桜
(ギョウジギョザクラ)
京都嵯峨中院から祇王寺庭に移植した品種。祇王・祇女にちなみ命名された。
▼西



44 梅護寺数珠掛桜
(バイゴジジユスカザクラ)
新潟県、梅護寺に原木がある。親鸞が数珠を掛けた桜の木から数珠のような桜が咲いたという言い伝えあり。
▼西



45 山桜
(ヤマザクラ)
奈良の吉野山の桜が有名。日本の野生の桜の代表的な品種。
西



46 天の川
(アマノガワ)
東京の荒川堤に植栽されていた品種で、枝や花がまっすぐに上に向かうのが特徴。
▼西南

